

English Compass for Teachers



2nd Edition



Compass(羅針盤)

大航海時代、船が目的地にたどり着くための進行方向を決定するために大きな役割を果たしました。Compassの発明のおかげで、安心して航海することができました。

2冊の“English Compass”が、子どもたちの小学校での英語学習の振り返りと中学校での英語学習の方向を指し示す案内役となり、中学校での学習をスムーズに進めるためのツールとして活用していただければ幸いです。

本冊子と“English Compass for Students”を改訂し、第2版を作成しました。昨年度の10中学校でのオリエンテーション授業の実践と小学校外国語科の授業支援活動をもとに改訂しました。先生方の不安や負担感を少しでも払拭し、英語教育に取り組んでいくために役立てていただければ幸いです。本冊子について、忌憚のないご意見をお願いします。

2020年3月20日

香川県三豊市立仁尾中学校 教諭 赤井真三子

SCONTENT

| | | |
|-----|--|----|
| 第1章 | 変わる！中学校英語の役割 | 1 |
| 第2章 | English Compass for Students の使い方 | 4 |
| 第3章 | 小学校外国語活動・外国語科完全実施までの流れ | 15 |
| 第4章 | 小学校外国語科の学習指導要領のポイント | 16 |
| 第5章 | 小学校英語をふまえて、変えるべき4つのポイント | 18 |
| 第6章 | 小中英語のスムーズな接続のための3つの留意点 | 21 |
| 第7章 | 小学校外国語活動・外国語科で扱われる表現一覧 | 26 |
| 第8章 | 小学校第6学年～中学校第3学年の「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標 | 29 |

はじめに

English Compass 第2版作成にあたり、2019年度4月に三豊市・観音寺市の中学校1年生732名にオリエンテーション授業を実践しました。実践していただいた先生方と生徒のアンケート調査結果と小学校外国語科の授業支援での調査をもとに内容を改訂いたしました。

English Compass の第2版では、オリエンテーション授業を2時間で実践できるように内容を厳選しました。そして本授業は、どの教科書を使っても実践できるようにしています。また、本冊子の第6章に小中英語のスムーズな接続のための3つの留意点を新たに加えました。

いよいよ2020年4月からは小学校でも外国語科（英語）が教科になります。小学校での英語学習を中学校での英語学習につなげるために、この2冊の Compass を参考にいただければと思います。

2020年3月20日 香川県三豊市立仁尾中学校 教諭 赤井真三子

第1章 変わる！中学校英語の役割

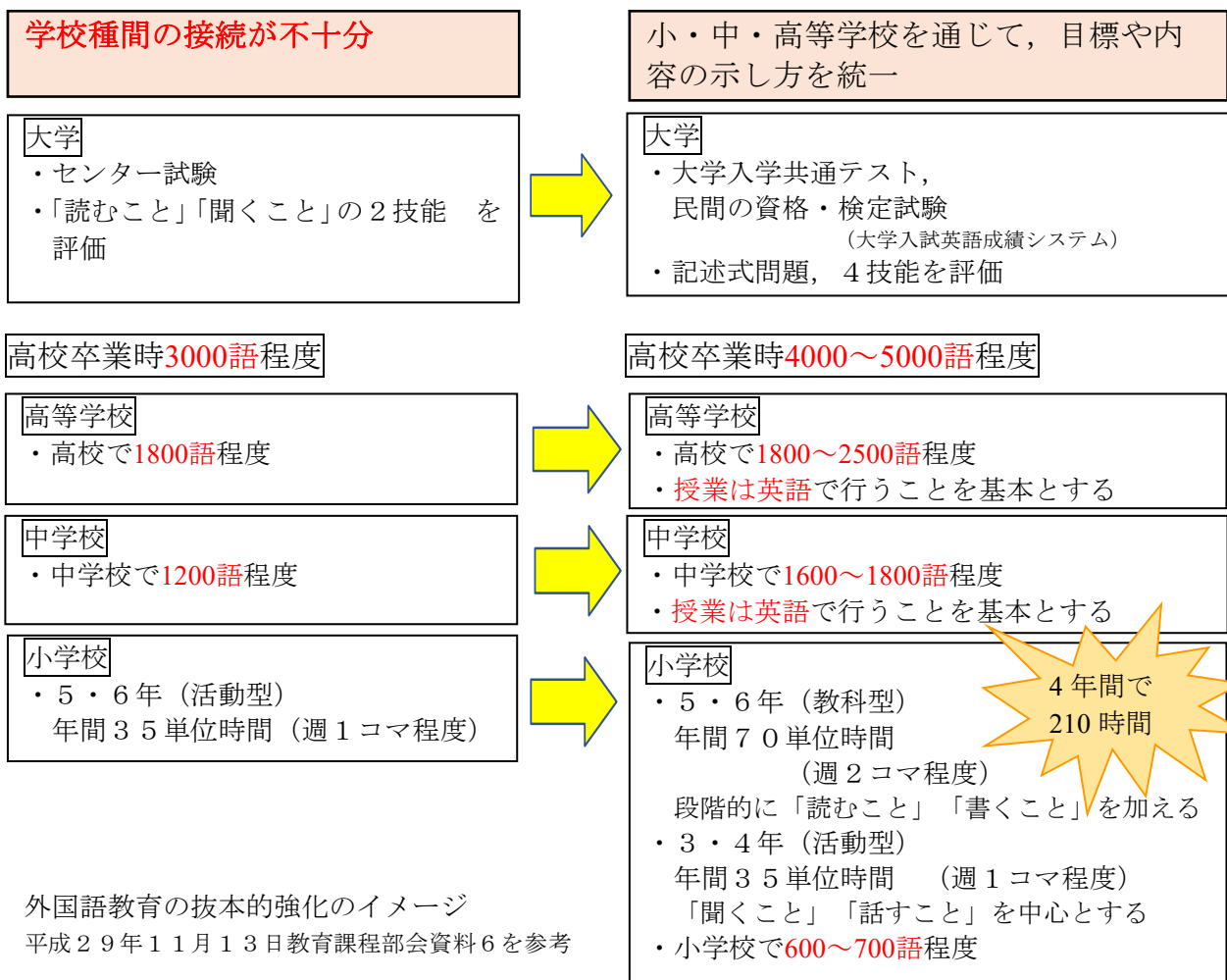
(1) なぜ、変わらないといけないのか ～英語教育の動向～

平成29年3月、小学校及び中学校の学習指導要領が公示されました。また、高等学校学習指導要領も、平成30年3月に公示されました。今回の学習指導要領の改訂は、今までになく大きな改革であると言われていています。英語教育においては、中学校は一見すると大きな変化がないように感じられますが、教科化の動きがある小学校英語と4技能をバランスよく高めるために「授業は英語で」の高校英語との間で、中学校英語がとても重要な役割を担っていると言えます。小学校で「英語は楽しい」と感じた経験を中学校へ接続しなければならないのです。英語学習の意欲をつないでいく、このような英語教育を取り巻く環境の中で、中学校こそ変わらないといけないのです。

英語教育の動向

これまで

これから



外国語教育の抜本的強化のイメージ
平成29年11月13日教育課程部会資料6を参考

(2) どう変わらないといけないのか ～中学校で担う役割～

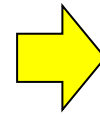
中学校英語科教員は、小学校での学習内容と生徒の学びの実態を十分に把握した上で、中学校での授業を進めていかなければなりません。小学校での英語学習の成果を円滑に引き継ぎ、中学校での学習に活かすことが中学校段階で担う役割と考えます。小学校英語と中学校英語の円滑な接続において、中学校で担う役割が2つあると考えます。

① 生徒自身が自分の英語力を把握する

小学校で培われた英語の知識、技能について、生徒自身が自分の英語力を把握することで、中学校での英語学習の見通しをもって学ぶことにつながっていきます。

English Compass for Students を使ってオリエンテーション授業（2時間）を実施

- ・ 生徒に、6つの観点を「英語でできる身につけることができるようになったことリスト」で自己診断させ、小学校英語の振り返りをさせる。



第2章

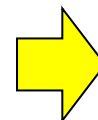
② 生徒の意欲をつなぐ

小学校でやってきたことが役に立つと実感させ、中学校でも頑張ろうと英語学習への意欲をつなぐことが重要です。



小学校英語をふまえて、変えるべき4つのポイント

- ・ 中学校でどのような力を身につけることができるようになるかを生徒に理解させる。
- ・ コミュニケーションを支えるための文法指導をする。
- ・ 教員が「書くこと」についての小学校の学びを把握する。
- ・ コミュニケーション活動を重視した授業設計をする。

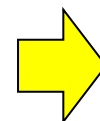


第5章



小中英語のスムーズな接続のための3つの留意点

- ・ 小学校の学習状況（文法、使用場面、指導法）を十分に把握する。
- ・ 小学校で学習した語彙や表現を繰り返し使用させることでその確実な定着を図る。



第6章

(3) どのように中学校で英語学習を進めていくか

本冊子は、中学校英語と小学校英語をつなぐために、中学校英語科教員がどのように英語指導を進めていったらいいのかを知るための羅針盤(COMPASS)としての役割を果たします。小学校で固めた基盤の上に、中学校では英語の基礎を作り、高等学校ではさらに高めていくためのガイドブックの役割を果たします。

① 小学校での学びの現状把握するために

第2章 English Compass for Studentsの使い方

- ・中学校入門期の**オリエンテーション授業**(2時間)での観察やワークシートをポートフォリオにすることで、小学校の学びを把握することができます。
- ・生徒自身が自分の小学校での学びを振り返ることと、中学校での英語学習の見通しを持つことができます。

② 中学校での授業実践をするために

第3章 小学校外国語活動・外国語科完全実施までの流れ

～小学校で英語を学んだ生徒が入学してきます！～

第4章 小学校外国語科の学習指導要領のポイント

～小学校学習指導要領のここをおさえる！～

第5章 小学校英語をふまえて、変えるべき4つのポイント

～中学校の授業のここを変える！～

第6章 小中英語のスムーズな接続のための3つの留意点

～小学校での文法、使用場面、指導法について把握しましょう！～

第7章 小学校外国語活動・外国語科で扱われる表現一覧

～小学校で学習した表現を中学校の授業で使いましょう！～

第8章 小学校第6学年～中学校第3学年の「CAN-DOリスト」形での学習到達目標

～小学校での学習を把握し、中学校卒業時の見通しを持ちましょう！



第2章 English Compass for Students の使い方

オリエンテーション授業を通して

小学校で学んだ内容の復習をします。中学校1年生の教科書の内容は、生徒によってはなじみのある内容がたくさんあります。しかし、生徒によって定着度は異なると思われます。

英語を学ぶ前に と 英語の学び方 では

中学校での英語学習を進めていくにあたり、中学校段階で生徒に身に付けてほしい内容です。生徒の自学自習に役立つ学習スキルや、小学校から中学校への円滑な学習を進めるためのポイントです。

「英語でできるようになったことリスト」で自己診断

自分でチェックすることを通して、生徒自身が今までの学習を振り返り、自分の英語能力を客観的に捉えることができます。

CAN-DO

小学校での学びが中学校の学習にどのようにつながっているかを示しています。

1 時間目

Date _____

English Compass for Students の表紙の名前，日付は，英語で書かせてみる。

特に「書くこと」については，小学校差，個人差があります。

まずは小学校の学習状況をしっかりと把握することが大切です。生徒によって定着度は異なるでしょう。生徒がすでに身に付けている知識や技能を把握して，丁寧に指導していくことを心がけましょう。



Let's start!

さあ，いよいよ中学校での英語学習が始まります。

今日から2時間でオリエンテーション授業をします。小学校で学習した内容を復習することを通して，できるようになったことを自己チェックします。そして，中学校での勉強の仕方，学習のゴールを学びましょう。

1. 英語であいさつしてみよう。

低学年から動作をつけた歌を歌っているので，ほとんどの生徒は英語であいさつができます。小学校でも日付は毎時間言わせていますが，正確に言えるかどうかを確認し，中学校でも授業の最初に言うことを習慣化させましょう。

T: Good morning, everyone.
 S: Good morning.
 T: How are you?
 S: I'm fine, thank you. And you?
 T: I'm happy.
 How's the weather?
 S: It's sunny.
 T: What's the date today?
 S: It's April 10.
 T: What day is it?
 S: It's Monday.
 T: What time is it now?
 S: It's ten thirty a.m.

あいさつを行うためのコツを伝えましょう。
 ・笑顔で相手の目を見てあいさつする。
 ・心を伝える気持ちであいさつする。
 ・相手のあいさつを聞く。



2. 先生の自己紹介を聞いて、質問に答えましょう。

T: Now I'll introduce myself. My name is Akai Mamiko.
 Please call me Ms. Akai.
 I like playing tennis. I like reading books, too. I read books on Sundays.
 My favorite book is "Swimmy". Nice to meet you.
 Now answer my questions.
 What is my name?
 S: Akai Mamiko.
 T: What sports do I play?
 S: Tennis.
 T: Yes, I play tennis. Do I like reading?
 S: Yes.
 T: Yes, I like reading books. What is my favorite book?
 S: Swimmy.
 T: Yes. When do I read books?
 S: On Sundays
 T: Yes.



生徒の気付きを大切に、生徒から引き出した気づきをまとめることを通して、理解を助けることを心がけましょう。

3. 自己紹介をしましょう。

班ごとに（一人20秒で）する。

Hello. I'm _____ . (名前)
 I like _____ . (好きな物)
 I can _____ . (できること)
 Thank you.

会話のコツを伝えましょう。
 ・笑顔で相手の目を見て話す。
 ・自分のことを相手に伝えようとする気持ちで話す。
 ・相手の話をしっかり聞いて、相づちを打つ。

「英語でできるようになったことリスト」で自己診断 できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

| | | |
|----------|-----------------------|--|
| 1 【話すこと】 | 友だちに簡単な自己紹介をすることができる。 | |
|----------|-----------------------|--|

CAN-DO

中学校では

小学校で学習した like や can に加えて, さらにくわしく自己紹介ができるようになります。



4. 友達に好きかどうかをインタビューして, ○×を書きましょう。

A: I like sushi. Do you like sushi?

B: Yes, I do. / No, I don't. But I like pizza.



| | sushi (すし) | pizza (ピザ) | cake (ケーキ) | tomato juice (トマトジュース) |
|--------|---------------|---------------|---------------|---------------------------|
| 例: Ken | ○ | × | ○ | × |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |

①食べ物・飲み物の単語(sushi, pizza, cake, tomato juice) を導入し, 発音練習をさせます。

②好きかどうかをたずねあう表現を導入します。

T: I like sushi. Do you like sushi?

S: Yes.

T: Please say, "Yes, I do."

S: Yes, I do.

T: Do you like pizza?

S: No.

T: Please say, "No, I don't."

S: No, I don't.

小学校で "Do you like ~?" は, 慣れ親しんでいます。like 以外の動詞はあまり親しんでいない可能性があり, 中学校では "Do you ~?" の文の活用の幅が広がるように指導しましょう。

小学校では答えるときに, Yes. や No. だけで答えても OK です。中学校では Yes, I do. や No, I don't. と答えることが求められるので, この機会にきちんとと言えるように指導しましょう。

③友だちに好きかどうかをたずねたり, 質問に答えたりする練習をして, 表を完成させます。

「英語でできるようになったことリスト」で自己診断

できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

| | |
|----------|--|
| 2 【話すこと】 | 友達に好きかどうかたずねたり, 質問にYes / No で答えたりすることができる。(Yes. / No. だけでも◎) |
|----------|--|

CAN-DO

中学校では

自分の好きなことについて話したり, 相手に好きなことについてたずねたりすることを学習します。そして, 好きなことだけでなく, play (～する), study (勉強する), write (書く), know (知っている), want (～がほしい) などの動詞も学習して, 相手にたずねることができるようになります。



英語を学ぶ前に 1

Why do you study English? なぜ, 英語を勉強するのかな?

「英語を勉強したい」と思えることが, 英語学習への意欲づけにつながります。「なぜ英語を学習するのか」ということを生徒に考えさせるために, 教員の考えを伝えましょう。必要性を感じさせることが大切です。

英語は世界で一番話されている。

英語を学ぶと, 異文化を理解できるようになる。

英語を学ぶと, 日本のことを理解できるようになる。

たくさんある言語の中でなぜ英語なのか?

一番多くの人を使用しているのは中国語です。しかし, 面積や世界の状況から見ると, 英語がより広い範囲で使用されています。医療, IT, 経済, エネルギー, スポーツ, 芸術…。現在, どの分野においても, 最も汎用性が高いのは英語です。それゆえに, 小学校や中学校では英語を外国語科として学習しています。

ちなみに, 日本国内の外国籍人口は2017年末現在では, **2,561,848人** (法務省入国管理局 在留外国人統計) です。国連加盟国の**193か国**から来日しています。その中で, 香川県内の外国籍人口は**11,290人 (80か国)** です。

(1位 中国, 2位 フィリピン, 3位 ベトナム)

英語を学ぶ前に 2

What do you want to do? 英語を使って何をしたいですか？

英語を身につけると、より豊かな人生につながります。英語ができると、より広い世界、より多くの人とつながることができます。時には、仕事などで必要にせまられた状況で英語を学ばなければならないこともあります。

- ① 国際社会で生きていくために
 - ・世界中の人々と話したい。
 - ・国際社会に貢献したい。
 - ・外国で働きたい。
- ② 漠然とした理由
 - ・英語を流ちょうに話したい。
 - ・英語の歌の意味がわかるようになりたい。
 - ・映画を字幕なしで見られるようになりたい。
 - ・外国へ旅行に行きたい。
 - ・外国で生活したい。
- ③ 進路設計のため
 - ・テストでいい点をとりたい。
 - ・入試の英語で良い点をとりたい。



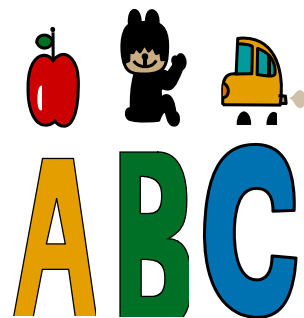
入門期の動機付けとして、「将来こんなことをしたい」と思えるように、「英語を使って～したい」ということを考えさせましょう。

英語学ぶ前に 3

英語の授業の準備物

- ・教科書
- ・ノート
- ・中英基礎と完成
- ・ファイル

準備物の共通理解を図りましょう。
はじめが大切です。



2時間目

Date _____

英語の学び方 1 英語の授業のルール

- | | |
|------------|---------------|
| ① Listen. | よく聞く |
| ② Think. | よく考える |
| ③ Repeat. | 繰り返し練習する |
| ④ Express. | 自分のことや考えを表現する |



① よく聞く

- ・ 「聞くこと」はコミュニケーションの基本
相手の言っていることがわからなければ、コミュニケーションを続けることはできません。
- ・ 「聞くこと」は言葉を身につけていく手段
「聞く」「読む」というインプットを十分にしないと、第2言語の習得は促進しません。
- ・ 「聞くこと」は異文化理解の基本姿勢
世界のいろいろな人たちの言葉を聞くことができるようになることにつながります。

② よく考える

すでに持っている知識を活性化しながら情報を受け取り、新しい知識を身に付けることができます。

③ 繰り返し練習する

繰り返し話したり、書いたりすることは言葉を学ぶ上では絶対必要です。

④ 表現する

中学校での英語学習の目標は、英語で自分のことや考えを表現することです。

【参考文献】酒井英樹(2014). 小学校外国語活動 大修館書店



5. (1) アルファベットの大文字と小文字を読みましょう。

(2) 左右の大文字と小文字を線でつないでみましょう。

- | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | E | ・ | ・ | d | ア |
| ② | I | ・ | ・ | i | イ |
| ③ | H | ・ | ・ | r | ウ |
| ④ | L | ・ | ・ | e | エ |
| ⑤ | F | ・ | ・ | q | オ |
| ⑥ | B | ・ | ・ | f | カ |
| ⑦ | Q | ・ | ・ | h | キ |
| ⑧ | R | ・ | ・ | l | ク |



(3) アルファベットの大文字と小文字を順番に書いてみましょう。

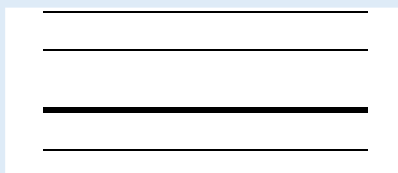
大文字 **A~Z**

小文字 **a~z**

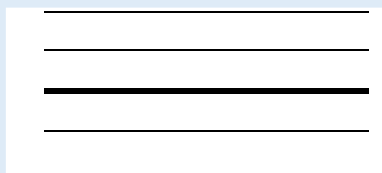
- ・各文字が正しく発音できているかを確認しましょう。
- ・アルファベットを書く練習は小学校で経験していますが、正確に書けるかどうかを確認しましょう。

小学校では、大文字と小文字を活字体で正確に自力で書くことができるようになっていないので注意が必要です。小学校で英文を書く場合、用意された単語群の中から選んで書くことはできますが、何も見ないで自力で書くことまでは求められていません。

また、小学校で用いられる4線と中学校で用いられている4線が少し異なるので、中学校での学習の際には指導が必要な可能性があります。



【小学校の4線】



【中学校の4線】

「英語でできるようになったことリスト」で自己診断 できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

| | | | |
|---|--------|---------------------------------|--|
| 3 | 【読むこと】 | 書かれたアルファベットの大文字と小文字を読むことができる。 | |
| 4 | 【書くこと】 | アルファベットの大文字と小文字を順番どおりに書くことができる。 | |

CAN-DO

中学校では

大文字と小文字は、小学校で書いたり読んだりすることをかなりしています。まずは文字の名前を覚えて形の特徴をとらえ、4線上に正確に書けるようにしましょう。特に小文字は高さに注意しましょう。bとd, fとt, pとqは、形のちがいにも気をつけましょう。gとgのように、印刷物の文字と手書きの文字の書き方がちがうものも注意しましょう。



6. (1) 先生の英語を聞いて、それぞれの音と右の単語を線で結んでみましょう。

- | | | |
|---|---|-----------------|
| ① | ・ | ・ DVD |
| ② | ・ | ・ bus |
| ③ | ・ | ・ table |
| ④ | ・ | ・ comic book |
| ⑤ | ・ | ・ soccer player |
| ⑥ | ・ | ・ video game |

アルファベットの音を聞いて、文字と一致しているか確認します。特に、単語の最初の文字を意識して聞かせましょう。

「英語でできるようになったことリスト」で自己診断 できる◎, あともう少し○, これからがんばる△

| | | | |
|---|--------|--|--|
| 5 | 【聞くこと】 | 日常生活の身近なものについて、音声（発音された音）とつづりを結び付けることができる。 | |
|---|--------|--|--|

CAN-DO

中学校では

つづりと発音（発音された音）の関係にも、少しずつ慣れることが大切です。基本的な発音を少しずつ覚えていきましょう。文字と音の基本的なルールを覚えると、知らない単語を読むことができるようになりますし、書くこともできるようになります。

7. 次の英語の文を書いてみましょう。名前ところに自分の名前をローマ字で書いてみましょう。

Good morning.

I'm (名前).



- ・自分の名前をヘボン式ローマ字で書けるかどうか確認しましょう。
- ・英語の文を書く時のルールを確認しましょう。
 - ①人名や地名、文頭は大文字で書く。
 - ②単語と単語の間は1文字分あけて書く。
 - ③文末はピリオドやクエスチョンマークを付ける。

英語のできるようになったことリストで自己診断 できる◎、あともう少し○、これからがんばる△

| | | | |
|---|--------|---|--|
| 6 | 【書くこと】 | 英語の書き方のきまりに合わせて正しく文を書くことができる。（人名や地名、文頭は大文字、単語と単語の間は少し離す、文の最後はピリオドかクエスチョンマークをつける。） | |
|---|--------|---|--|

CAN-DO

中学校では

単語が読めるようになったら、何も見ないで自分の力で書けるようにしなければいけません。何も見ないで書いた後は、正しく書けているかどうか確認しましょう。



英語の学び方 2

英和辞書の使い方

英和辞書からは様々な情報が得られます。英和辞書をひくと、こんなことを調べることができます。

- ・ 発音やアクセント(強く発音する)の位置がわかる。
- ・ 単語の意味がわかる。
- ・ 例文の中でその単語の使い方を示している。
- ・ ◆印や赤字などによって、単語の重要度が示されている。
- ・ 辞書には、品詞(動詞、名詞、形容詞など)が書かれている。
- ・ 単語の意味以外にも、文化情報なども書かれている。



英語の学び方 3

中学校では、特に「書くこと」についての復習が大切です。英語の単語が書けるという状態は、何も見ないで書ける状態を言います。小学校では、「見て書き写す」でよかったのですが、中学校では自分の力で書けるようになることが求められます。

そのために家庭学習では、

- ①自分でテストしてみる(何も見ないで書いてみる)
- ②自己点検
- ③間違ったところ、書けなかったところを練習して書けるようにする
- ④自分で再テストしてみる

というサイクルを繰り返しましょう。「分かること」と「できる」ことは違います。家で復習をするためには、授業中にしっかり聴いて、声を出して読めるようにしておくことが必要です。読むことができないことは書けませんよ。Do your best! (ベストを尽くして!)

英語の学び方 4

中学校3年間の英語学習への見通しをもちましょう。

小学校の英語学習では

「聞くこと」「話すこと(やり取り・発表)」を中心に英語に親しみ、「読むこと」「書くこと」にも少しふれてきました。

中学校では

「読むこと」「書くこと」も本格的に学習がスタートして、「聞くこと」「話すこと(やり取り・発表)」「読むこと」「書くこと」の4つの技能(5つの領域)をバランスよく学習します。自己紹介や、1日の生活、将来の夢、自分の町、日本文化の紹介などについて話し、話したことをもとに自分の力で正確に書くことができますようになります。そして、物語、地理、歴史、スポーツ、環境問題、人権や平和などさまざまなジャンルについての英文を読むことができますようになります。



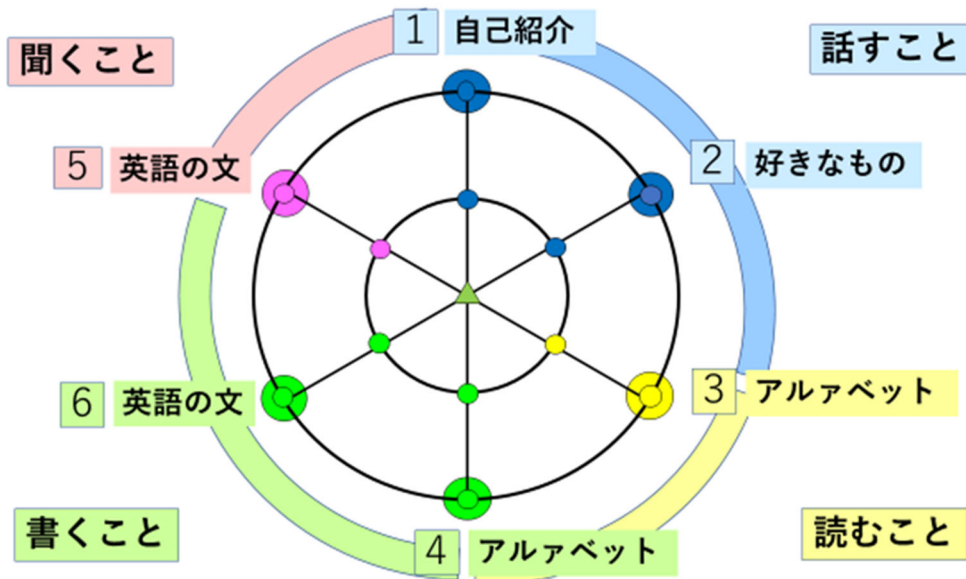
英語オリエンテーション授業の 1年()組()番

生徒用 Compass の「英語でできるようにな
ったことリスト」の1~6に記入した◎,
○, △をここに記入
↓
チャートに記入

英語でできるようになったことリスト

できる◎, あい

| | | | |
|---|--------|--|--|
| 1 | 【話すこと】 | 友だちに簡単な自己紹介をすることができる。 | |
| 2 | 【話すこと】 | 友達に好きかどうかたずねたり, 質問にYes / No で答 たりすることができる。(Yes. / No. だけでも◎) | |
| 3 | 【読むこと】 | 書かれたアルファベットの大文字と小文字を読むことが できる。 | |
| 4 | 【書くこと】 | アルファベットの大文字と小文字を順番どおりに書くこ とができる。 | |
| 5 | 【聞くこと】 | 日常生活の身近なものについて, 音声(発音された音) とつづりを結び付けることができる。 | |
| 6 | 【書くこと】 | 英語の書き方のきまりに合わせて正しく文を書くことが できる。(人名や地名, 文頭は大文字, 単語と単語の間は 少し離す, 文の最後はピリオドかクエスチョンマークをつ ける。) | |



☆英語でできるようになったことリストの結果を見て, 今の自分の英語について気づいた
こと, これから取り組みたいことについて書きましょう。

第3章 小学校外国語活動・外国語科完全実施までの流れ

～小学校で英語を学んだ生徒が入学してきます！～

学習指導要領において、高学年の「外国語」は年間70単位時間（1単位時間45分）実施することになっています。ただし、平成30（2018）年度と平成31（2019）年度の移行期間は、最低50時間行うこととしています。この2年間に限って「総合的な学習の時間」の15時間分を活用してもよいこととし、従前の「外国語活動」の35時間にこの15時間分を加えて、最低50時間としています。

| 2018年度 (移行期間1年目) | 2019年度 (移行期間2年目) | 2020年度 (小学校完全実施) | 2021年度 (中学校完全実施) |
|--|--|--|---|
| 中学年 最低15時間実施 高学年 最低50時間実施 | 中学年 最低15時間実施 高学年 最低50時間実施 | 小学校検定教科書使用開始 中学年 35時間実施 高学年 70時間実施 | 中学校新検定教科書 使用開始 中学年 35時間実施 高学年 70時間実施 |
| 3年 "Let's Try 1" | 4年 "Let's Try 2" | 5年 検定教科書（5年） | 6年 検定教科書（6年） |
| 4年 "Let's Try 2" | 5年 "Hi, friends! 1"と"We Can! 1"の2冊併用 | 6年 検定教科書（6年） | 中1 新検定教科書（中1） |
| 5年 "Hi, friends! 1"と"We Can! 1"の2冊併用 | 6年 "Hi, friends! 2"と"We Can! 2"の2冊併用 | 中1 現行教科書使用（中1） | 中2 新検定教科書（中2） |
| 6年 "Hi, friends! 2"と"We Can! 2"の2冊併用 | 中1 現行教科書使用（中1 ） | 中2 現行教科書使用（中2） | 中3 新検定教科書（中3） |

（"We Can! 1"の授業&評価プラン 菅正隆 編著 より抜粋）

中学校入学時の英語の授業時間

2018・2019年度の2年間は移行期です。すでに、ほとんどの小学校では3・4年生で週1時間の外国語活動が、5・6年生で週2時間の外国語科が実施されています。2024年度までは、学習量と学習内容が異なる生徒が段階的に入学してきます。現6年生は140時間、現4年生は210時間の英語の授業を経験して中学校に入学してくることになります。中学校3年間の英語の授業時間は420時間で、現小学校4年生から中学校3年間の半分の授業時間を小学校で経験して中学校に入学してくることになります。

| 学年 | 英語の授業時間 |
|---------|---------|
| 現小学校6年生 | 140 |
| 現小学校5年生 | 175 |
| 現小学校4年生 | 210 |

2020年度完全実施までの移行期間は、小学校での授業の時間や内容に差があります。また、中学校で教科書が改訂される2021年度までは、現行の教科書を使用します。小学校での学びを活かした指導をするためには、校区の小学校でどのように英語教育が進められているかを把握することが大切です。

第4章 小学校外国語科の学習指導要領のポイント ～小学校学習指導要領のここをおさえる！～

学習指導要領における外国語活動、外国語科の目標

| 小学校第3学年及び第4学年 外国語活動 | 小学校第5学年及び第6学年 外国語 | 中学校 外国語 |
|---|--|--|
| 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による <u>聞くこと、話すこと</u> の言語活動を通して、 <u>コミュニケーションを図る素地</u> となる資質・能力を育成することを目指す。 | 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による <u>聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと</u> の言語活動を通して、 <u>コミュニケーションを図る基礎</u> となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 | 外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による <u>聞くこと、読むこと、話すこと、書くこと</u> の言語活動を通して、 <u>簡単な情報や考え方</u> などを理解したり表現したり伝え合ったりする <u>コミュニケーションを図る資質・能力</u> を次のとおり育成することを目指す。 |

※3つの目標を比較するため、編者による下線、網掛けを加筆している。

学習指導要領における外国語科の「読むこと」の目標

| 小学校第3学年及び第4学年 外国語活動 | 小学校第5学年及び第6学年 外国語 | 中学校 外国語 |
|------------------------|---|--|
| | <p>ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。</p> <p>【編者からの留意事項】 活字体で書かれた文字（アルファベット）の名称読みをすることができるが、単語を読むことができるとはかぎらない。</p> <p>イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語や基本的な表現の意味が分かるようにする。</p> <p>【編者からの留意事項】 単語が添えられた絵カードを何度も見ながら、聞いたり話したりして、音声で十分に慣れ親しむ。単語の読み方を推測して読む程度であり、語句や表現をすらすら読むことはできない。</p> | <p>ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。</p> |

学習指導要領における外国語科の「書くこと」の目標

| 小学校第3学年及び第4学年 外国語活動 | 小学校第5学年及び第6学年 外国語 | 中学校 外国語 |
|------------------------|---|---|
| | <p>ア 大文字，小文字を活字体で書くことができるようにする。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。</p> <div data-bbox="561 564 994 855" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【編者からの留意事項】 単語と単語の間にスペースをとることや，文や固有名詞の最初は大文字にする等の英語の表記や，4線を意識して書き写すことができる。しかし，覚えて書くことはできない。</p> </div> <p>イ 自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。</p> <div data-bbox="561 1079 994 1317" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【編者からの留意事項】 一部を書きかえたり，用意された単語群の中から選びとって書き写したりすることができる。しかし，何も見ないで書くことはできない。</p> </div> | <p>ア 関心のある事柄について，簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。</p> <p>イ 日常的な話題について，事実や自分の考え，気持ちなどを整理し，簡単な語句や文を用いて，まとまりのある文章を書くことができるようにする。</p> <p>ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて，考えたことや感じたことその理由などを簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。</p> |

学習指導要領における「外国語の言語材料」

| 小学校第5学年及び第6学年 外国語 | 中学校 外国語 |
|--|---|
| <p>小学校第3学年及び第4学年で取り扱った語を含む600～700語程度の語 日本語と英語の語順の違い等に気付かせるとともに，基本的な表現として，意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用すること。</p> | <p>小学校で学習した語に1600～1800語程度の新語を加えた語 意味のある文脈でのコミュニケーションの中で繰り返し触れることを通して活用すること。</p> |

【参考文献】

外国語 新学習指導要領移行期に理解したいこと高学年外国語科での読むこと・書くことの指導
 直山木綿子 総合教育技術 (2018. 7)
 初等外国語教育 湯川笑子 ミネルヴァ書房 (2018. 3. 18)

第5章 小学校英語をふまえて、変えるべき4つのポイント ～中学校の授業のここを変える！～

1. 小学校で学んだ言語材料の定着，発展をさせるために，どのような力をつけることができるようになるかを生徒に理解させる。

小学校ですでに学んだ言語材料を，中学校でも学ぶことになる。その時に，どのような力を身に付けることができるようになるかを生徒に理解させる必要があります。

- ・書き写すのではなく，自分の力で書く。
- ・英語を正しく理解し，表現するためのツールとして文法事項の理解や練習を十分に作る。

中学校で求められていることを具体的に示すことが大切です。

2. コミュニケーションを支えるための文法指導をする。

小学校においては，表現できることでも文法等の文のきまりについての解説は行われていません。小学校での学びに正確さを身に付けるための文法指導を行いましょう。学習している文法がどのような場面や状況で使われているかの指導が欠かせません。コミュニケーションを支えるための文法指導であるということを心がけましょう。

小学校 Do you like ~? 「まるごと」覚える。

疑似コミュニケーションを体験させる中で，「気づき」をうながしながら，実際に運用できるようにする。

中学校 Do you like ~? you を she に変えると Does she like ~? になるというきまりを学ぶ。

第5学年及び第6学年

〔知識及び技能〕

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

(1) 英語の特徴やきまりに関する事項

実際に英語を用いた言語活動を通して，・・・言語材料と言語活動とを効果的に関連付け，実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けることができるよう指導する。

② 言語の働きに関する事項

ア 言語の使用場面の例

(ア) 児童の身近な暮らしに関わる場面

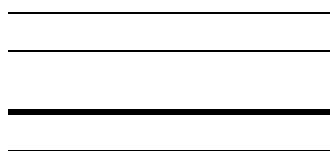
・家庭での生活 ・学校での学習や活動 ・地域の行事 など

言語活動を行う際には，**表現の文構造などを指導することなどはせず**，児童に示された場面で活用する表現の音声を意識させ，コミュニケーションを通して表現の意味や働きを**体験的に理解させていく指導**が大切である。これにより，中学校段階で具体的に文の構造を生徒に指導したりする際に，比較的抵抗なく理解を促し，より活用できるようにすることが期待できると思われる。

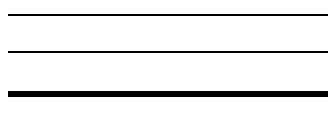


3. 「書くこと」についての小学校の学びを教員が把握する。

小学校では、大文字と小文字を活字体で正確に自力で書くことができるようになっていきます。単語は一部を書きかえたり、用意された単語群の中から選びとって書き写したりすることもできますが、何も見ないで書くことまでは求められていませんのでできない可能性があります。また、小学校で用いられる4線と中学校で用いられている4線が少し異なるので、中学校での学習の際には指導が必要な可能性があります。



【小学校の4線】



【中学校の4線】



小学校第5学年及び第6学年での「書くこと」の目標は

ア 大文字、小文字を活字体で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。

【編者からの留意事項】

単語と単語の間にスペースをとることや、文や固有名詞の最初は大文字にする等の英語の表記や、4線を意識して書き写すことができる。しかし、覚えて書くことは求められていない。

イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。

【編者からの留意事項】

一部を置き換えたり、用意された単語群の中から選びとって書き写すことができる。何も見ないで書くことは求められていない。

具体的には

(ア) 文字の読み方が発音されるのを聞いて、活字体の大文字、小文字を**書く**活動。

何も見ることなく児童が自分の力で書くことができるようになることを求めている。

(イ) 相手に伝えるなどの目的をもって、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句を**書き写す**活動。

(ウ) 相手に伝えるなどの目的をもって、語と語の区切りに注意して、身近で簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ基本的な表現を**書き写す**活動。

(エ) 相手に伝えるなどの目的をもって、名前や年齢、趣味、好き嫌いなど、自分に関する簡単な事柄について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いた例の中から**言葉を選んで書く**活動。

例となる語句や表現を示すことが必須となる。 主に文を書く。

「書き写す」と「書く」

「書き写す」・・・語句や文を見ながらそれらをそのまま書くことです。

「書く」・・・例となる文を見ながら、自分の考えや気持ちを表現するために、例となる文の一部を別の語にかえて書くことです。

4. コミュニケーション活動を重視し、「深い学び」を目指した授業設計をする。

小学校の英語の授業では、コミュニケーション活動重視の授業が児童の学習意欲を高め、英語の発信力を向上させている。指導目標が、小学校と中学校では異なるので、たとえ言語材料が同じであっても、授業の内容やねらいが異なる。小学校英語から中学校英語のスムーズな移行のためには、「指導法の継続性」を意識し、小学校で行っているようなコミュニケーション活動の場面を設定して、生徒の思考を深めることが不可欠である。

例えば

Do you like sushi? は、どのような場面で使用する言葉ですか？

小学校では

A: Do you like sushi?

B: Yes, I do.

すしが好きかどうかをたずねて、答えます。

中学校では

A: Do you like sushi?

B: Yes, I do.

A: Let's eat sushi.

B: Great!

A: Let's meet the sushi restaurant at 11:30 a.m

B: OK. See you.

A: See you.

- ・はじめて日本を訪れた人に対して日本の食文化を紹介したいという気持ちから、すしをすすめるという場面
 - ・友人同士で食事に行く約束をして、何を食へに行くかを相談している場面
- など、場面を設定して、思考を深めることができます。

英語「見方・考え方」を働かせた「深い学び」



第6章 小中英語のスムーズな接続のための3つの留意点

1. 小学校の英語教育との円滑な接続のために中学校における指導で大切なこと

小学校の学習状況（文法，使用場面，指導法）をしっかりと把握しましょう。

- ・同じ言語材料を繰り返し使用させることでその確実な定着を図りましょう。
- ・小学校で学習した語彙や表現を発展させていくことで，内容の広がりや深まりをもたせましょう。

生徒が小学校で，どのような文法を，どのような場面で，どのような指導法で学んでいるのかを把握しましょう。

英語の「見方・考え方」を働かせた「深い学び」

生徒は，たくさんの表現や語彙に小学校でふれてきますが，意味や使い方を正確に理解していません。



小中接続の3つの留意点

| 文 法 | 使用場面 | 指導法 |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・肯定文 ・疑問文 ・否定文 ・疑問詞 ・文構造 | <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介 ・道案内 ・自分たちの町 ・学校生活 ・将来の夢 | <ul style="list-style-type: none"> ・ポインティングゲーム ・スリーヒントクイズ ・ミッシングゲーム ・キーワードゲーム ・チャンツ ・英語の歌 ・絵本の読み聞かせ ・ビンゴゲーム ・インタビューゲーム ・スピーチ ・スモールトーク |

2. 文法

(1) 肯定文

| 言語材料 | 小学校 | 中学校 |
|-------------------------|--|-----|
| I am ~. | ○ | ○ |
| You are ~. | ○ | ○ |
| He (She, It) is ~. | ○ | ○ |
| I (You) like ~. | ○ | ○ |
| He (She) likes ~. | × 三人称単数の動詞の変化は扱わない。 | ○ |
| I (You, He, She) can ~. | ○ 三人称単数の動詞の変化を回避するために, can を使用している。 | ○ |
| I (He, She, It) 過去形 ~. | △ (went, enjoyed, ate, saw, was 等, 限られた動詞) Was は It was 形容詞のみ扱う。 | ○ |
| 主語+動詞+動名詞 | △ 活用頻度の高い, 基本的な表現である以下の3文のみ扱う。動名詞を文から取り出して, 文法指導をすることはしない。 I like 動名詞. I enjoyed 動名詞. I am good at 動名詞. | ○ |
| 主語+動詞+to 不定詞 | △ 不定詞は, 活用頻度の高い I want to 不定詞のみ扱う。 | ○ |

(2) 疑問文

| 言語材料 | 小学校 | 中学校 |
|----------------------|----------------------------------|-----|
| Are you ~? | ○ | ○ |
| Is (he, she) ~? | ○ | ○ |
| Do you ~? | ○ | ○ |
| Does he (she, it) ~? | × 小学校の外国語科では, does で始まる疑問文は扱わない。 | ○ |
| Can you (he, she) ~? | ○ | ○ |
| Did you (he, she) ~? | × 小学校の外国語科では, did で始まる疑問文は扱わない。 | ○ |

(3) 否定文

| 言語材料 | 小学校 | 中学校 |
|---------------------------|----------------------------------|-----|
| I'm not ~. | ○ | ○ |
| You are not ~. | ○ | ○ |
| He (She) isn't ~. | ○ | ○ |
| I (We) don't ~. | ○ | ○ |
| He (She) doesn't ~. | × 小学校の外国語科では, does を用いた否定文は扱わない。 | ○ |
| I (You, He, She) can't ~. | ○ | ○ |

否定文は学習しますが, 肯定文, 疑問文ほど頻繁に扱われません。

(4) 疑問詞

| 疑問詞 | 小学校 | 中学校 |
|-------|---|-----|
| what | ○ | ○ |
| who | ○ | ○ |
| when | ○ | ○ |
| where | ○ | ○ |
| how | ○ | ○ |
| why | △ 教員が児童に why を使ってたずねることはあるが、児童が使用する場面はない。 | ○ |
| whose | × 小学校の外国語科では、whose で始まる疑問文は扱わない。 | ○ |
| which | × 小学校の外国語科では、which で始まる疑問文は扱わない。 | ○ |

(5) 文構造

| | | |
|-----|---|--|
| 小学校 | <p>語順への気づきを確かめるものにさせる。</p> <p>I eat fish. I like apples. I want a computer. I study English.</p> | <p>動詞を入れかえることで、語順を意識させます。なお、目的語にあたる名詞は負担感を考えてイラストで示すこともあります。</p> |
| 中学校 | <p>文の仕組みを理解させる。</p> <p>I eat fish. They like apples. She wants a computer. We study English. He plays tennis.</p> | <p>〈主語＋動詞＋目的語〉の文の語順を理解するために、〈動詞＋目的語〉を入れかえる練習をします。</p> |

3. 使用場面

(1) 自己紹介

| | | |
|-----|---|--|
| 小学校 | <p>これまで音声で十分慣れ親しんできた表現を読んだり書いたりする。その活動で書きためた文を使って口頭発表をすることができる。</p> <p>Hello. I'm Yuta. I like dogs. I like math. I like soccer. I can run fast. My birthday is May 16th. Thank you.</p> | <p>自己紹介で使用することが想定される表現 My name is ~. / My birthday is ~. / I like, have, play, watch ~. / I can ~. / I'm good at ~. / I want to ~.</p> |
| 中学校 | <p>これまで学習した表現を使って、自分のことを発表することができる。</p> <p>Hello, everyone. I'm Ito Emi. I'm a Higashi Junior High School student. I'm twelve years old. I live in Chuo-cho. I have two cats. I like volleyball. I'm on the volleyball team. I practice it hard. Thank you.</p> | <p>on, it, at 等の前置詞は小学校でも多少は慣れ親しんでいます。中学校でさらに用法に習熟することで、文の内容に広がりをもたせることができます。</p> |

(2) 道案内

| | |
|-----|--|
| 中学校 | <p>徒歩での道順をたずねたり，教えたりすることができる。 Excuse me. / I'm looking for Midori Station. / Could you tell me the way to the station? Let's see. / Go (straight) down this street. / Turn [right / left] at the second traffic light.</p> <p>乗り物での行き方をたずねたり，教えたりすることができる。 Excuse me. / Which bus goes to the Palace Theater? / Take Bus No. 104. / A bus arrives every ten minutes. / Where should we get off? / Get off at 47th Street. / How long does it take?</p> <p>乗りかえのある乗り物での行き方をたずねたり，教えたりすることができる。 Could you tell me how to get to Kokuritsu-kyogijo? / Take the Ginza Line to Aoyama-itcho, and change trains there. / How many stops is Aoyama-itcho from here?</p> |
|-----|--|

(3) 自分たちの町

| | |
|-----|---|
| 小学校 | <p>地域にどのような施設があるのか，また欲しいのか，さらに地域のよさなどを聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>This is my town. Sakura is nice. We have a big station. We don't have a park. I like soccer. I want a big park.</p> <p>文は，主語と述語の関係が一つだけ含まれる単文を扱います。</p> |
| 中学校 | <p>自分の住んでいる町について4文以上で書いて，発表することができる。</p> <p>I live in Kumamoto City in Kyushu. Kyushu is in the southwest of Japan. My city is famous for Kumamoto Castle. Its main palace is popular. There are beautiful rooms, a great kitchen, a simple tea room, and so on. You can learn about history there.</p> |

(4) 学校生活

| | |
|-----|--|
| 小学校 | <p>My best memory is my school trip. We went to the mountains. We enjoyed hiking. It was fun.</p> <p>文は，主語と述語の関係が一つだけ含まれる単文を扱います。“enjoyed ~ing”は，文から取り出して不定詞の説明をすることはしません。</p> |
| 中学校 | <p>We had our sports day in June. I can run fast. So I ran in the relay. Our team won first place. I enjoyed the day very much.</p> <p>文と文をつなげる接続詞や副詞，前置詞を用いて一連の話のまとまりを形成させます。</p> |

(5) 将来の夢

| | | |
|-----|--|--|
| 小学校 | <p>将来つきたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>I want to be an astronaut. I like watching the stars. I study hard.</p> | <p>文は、主語と述語の関係が一つだけ含まれる単文を扱います。“want to ~.”は、文から取り出して不定詞の説明をすることはしません。</p> |
| 中学校 | <p>自分の将来の夢について4文以上で書いて、発表することができる。</p> <p>I want to be a computer programmer. I have two reasons. First, I like to surf the Internet. Second, I want to make useful websites. So the job is perfect for me. To be a good programmer, I study math, science, and English really hard.</p> | <p>文と文をつなげる接続詞や副詞、前置詞を用いて一連の話のまとまりを形成させます。</p> |

4. 指導法

| 指導法 | 小学校 | 中学校 |
|------------|---|-----|
| ポインティングゲーム | ○ 教員が言う絵や単語を、英語を言いながら指さす。 | × |
| スリーヒントクイズ | ○ 3つのヒントを聞き、それに該当するものを選んで発表する。 | × |
| ミッシングゲーム | ○ 黒板に何枚かのカードをはる。児童が目を閉じている間に、教員が絵カードの1枚を隠す。児童が目を開け、どの絵カードがないかを答える。 | × |
| キーワードゲーム | ○ ペアになり、間に消しゴムを置く。教員の後について、文を言う。あらかじめ決めてあったキーワードが言われたら、繰り返さずに消しゴムを取る。 | × |
| チャンツ | ○ | ○ |
| 英語の歌 | ○ | ○ |
| 絵本の読み聞かせ | ○ | × |
| ビンゴゲーム | ○ | ○ |
| インタビューゲーム | ○ | ○ |
| スピーチ | ○ | ○ |
| スモールトーク | ○ 小学校でもよく行われている指導法の1つである。令和2年度から使用される教科書でも、帯活動などとしてスモールトークが多く扱われている。 | ○ |



第7章 小学校外国語活動・外国語科で扱われる表現一覧
 ～小学校で学習した表現を中学校の授業で使いましょう！～

We Can! 1

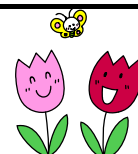
| 単 元 名 | 表 現 |
|---|--|
| Unit 1 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 | Hello. I'm Saki. Nice to meet you. My name is Kosei. How do you spell your name? K-O-S-E-I. I (like / don't like) blue. What sport do you like? I like soccer very much. I want a new ball. |
| Unit 2 When is your birthday? 行事・誕生日 | When is your birthday? My birthday is August 14th. What sport do you like? I (like / don't like) tennis. Do you want new shoes? Happy birthday. What do you want for your birthday? I want a dog. |
| Unit 3 What do you have on Monday? 学校生活・教科・職業 | Do you have P.E. on Monday? Yes, I do. / No, I don't. What do you have on Monday? I study math. I want to be a teacher. I want to study English. |
| Unit 4 What time do you get up? 一日の生活 | What time do you get up? I usually get up at 7:00. (always, usually, sometimes, never) (wash the dishes, set the table, clean my room, get the newspaper, go to bed, walk my dog, take a bath, do my homework, go home, play with my friends, eat breakfast / lunch / dinner) |
| Unit 5 She can run fast. できること He can jump high. | Can you sing well? Yes, I can. / No, I can't. (I / You / She / He) (can/ can't) sing well. |
| Unit 6 I want to go to Italy. 行ってみたい国や地域 | Where do you want to go? I want to go to Italy. Why? I want to (see / go to / visit) the Colosseum. I want to eat pizza. I want to buy olive oil. It's (exciting / delicious / beautiful / great / fun). |
| Unit 7 Where is the treasure? 位置と場所 | Where is the treasure? Go straight for three blocks. Turn (right / left) at the third corner. You can see it on your (right / left). It's (on / in / under / by) the desk. |
| Unit 8 What would you like? 料理・値段 | What would you like? I'd like spaghetti. It's for my brother. This is for my brother. How much? It's 900 yen. Here you are. Thank you. |
| Unit 9 Who is your hero? あこがれの人 | Who is your hero? This is my hero. (He / She) is good at playing tennis. (He / She) is a good tennis player. (He / She) can cook well. (He / She) is (kind/cool/great/strong/gentle/ active / brave / funny). |

We Can! 2

| 単 元 名 | 表 現 |
|---|---|
| Unit 1 This is ME! 自己紹介 | I'm from Kagawa. I (like / play) tennis. I can play tennis well. I am good at running. My birthday is June 5th. My nickname is Ken. I want to go to America. I want to watch baseball games. What subject do you like? |
| Unit 2 Welcome to Japan. 日本の文化 | Welcome to Japan. I (like / enjoy) <i>rakugo</i> . In summer, we have fireworks festival. What food do you have in Japan? We have <i>udon</i> . Why do you like it? It's delicious. You can enjoy <i>tempura</i> . |
| Unit 3 He is famous. She is great. 人物紹介 | I am Ken. I play the piano. I want a new ball. I eat spaghetti. I study science. I can (swim / cook / skate / ski / sing / dance). Who is this? (He / She) is (great / famous). |
| Unit 4 I like my town. 自分たちの町・地域 | We have a park. We don't have an aquarium. We can see many flowers. We can enjoy (shopping / swimming / fishing / jogging). I want a library. Sakura is a nice town. |
| Unit 5 My Summer Vacation 夏休みの思い出 | I went to my grandparents' house. I enjoyed fishing. I saw the blue sea. It was (fun / exciting / beautiful / delicious). |
| Unit 6 What do you want to watch? オリンピック・パラリンピック | What do you want to watch? I want to watch wheelchair basketball on TV. Why? He is good at playing tennis. He is a great tennis player. I like baseball. Are you good at basketball? Yes, I am. / No, I'm not. |
| Unit 7 My Best Memory 小学校生活・思い出 | What's your best memory? My best memory is our school trip. We went to Kyoto. We enjoyed the trip. We ate Japanese food. We saw old temples. |
| Unit 8 What do you want to be? 将来の夢・職業 | What do you want to be? I want to be a vet. Why? I like animals. I can save animals. That's good. Good luck. |
| Unit 9 Junior High School Life 中学校生活・部活動 | I want to join the soccer club. What club do you want to join? I want to study hard. I want to read many books. I want to make many friends. I want to enjoy sports day. What event do you want to enjoy? |

Hi, friends! 1

| 単元名 | 表現 |
|--|--|
| Lesson 1 Hello! 世界のいろいろな言葉であいさつしよう | Hello. Hi. My name is ~. What's your name? Thank you. Goodbye. See you. |
| Lesson 2 How are you? ジェスチャーをつけてあいさつしよう | How are you? I'm happy. |
| Lesson 3 How many? いろいろなものを数えよう | How many pencils? Five pencils. |
| Lesson 4 I like apples. 好きなものを伝えよう | I like ~. Do you like ~? Yes, I do. / No, I don't. I don't like ~. |
| Lesson 5 What do you like? 友だちにインタビューしよう | What do you like? I like (tennis). What (sport) do you like? I like (soccer). |
| Lesson 6 What do you want? アルファベットをさがそう | What do you want? The 'A' card, please. |
| Lesson 7 What's this? クイズ大会をしよう | What's this? It's a piano. |
| Lesson 8 I study Japanese. 「夢の時間割」を作ろう | I study Japanese on Monday. What do you study on Friday? |
| Lesson 9 What would you like? ランチメニューを作ろう | What would you like? I'd like a hamburger. |



Hi, friends! 2

| 単元名 | 表現 |
|--|--|
| Lesson 1 Do you have "a"? アルファベットクイズを作ろう | Do you have "a"? Yes, I do. / No, I don't. |
| Lesson 2 When is your birthday? 友だちの誕生日を調べよう | When is your birthday? My birthday is March eighteenth. |
| Lesson 3 I can swim. できることを紹介しよう | I can / can't ~. Can you ~? Yes, I can. / No, I can't. |
| Lesson 4 Turn right. 道案内をしよう | Where is the school? Go straight. Turn right. / Turn left. Stop. Excuse me. Sorry. |
| Lesson 5 Let's go to Italy. 友だちを旅行にさそおう | I want to go to Italy. Where do you want to go? Let's go. Let's go to Italy. |
| Lesson 6 What time do you get up? 一日の生活を紹介しよう | What time do you get up? I get up at seven. |
| Lesson 7 We are good friends. オリジナルの物語を作ろう | We are strong and brave. We are good friends. |
| Lesson 8 What do you want to be? 「夢宣言」をしよう | I want to be a teacher. What do you want to be? |

第8章 小学校第6学年～中学校第3学年の「CAN-DO リスト」 の形での学習到達目標

～小学校での学習を把握し、中学校卒業時の見通しをもちましよう！～

| | 小学校第6学年 | 中学校第1学年 | 中学校第2学年 | 中学校第3学年 |
|--------------|--|---|---|---|
| 聞くこと | ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができる。 | 初歩的な語彙や表現での会話、自己紹介、放送などを聞いて、主な内容を聞き取ることができる。 | 放送、天気予報等特定のテーマについての英語を聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。 | 様々な場面で話されるまとまった英語を聞いて、概要や要点を整理して内容や話し手の考えや意向を正確に聞き取ることができる。 |
| 読むこと | 言語外情報を伴っている、日常生活に関する身近で簡単な事柄が書かれた掲示やパンフレットなどから、自分が必要とする情報を読み取ることができる。 | 初歩的な語彙や表現で書かれた文章や物語を読み、その主な内容を読み取ることができる。 | レポートやスピーチ、物語や説明文を読みその主な内容や書き手の意向を読み取ることができる。 | 物語や伝記、記事説明文等を読み、自分の感想や意見を述べるように、その内容や大切な部分を整理しながら正確に読み取ることができる。 |
| 話すこと やり取り | 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的表現を用いて、質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができる。 | 初歩的な語彙や表現等を用いて、短い会話をするができる。 | 身近な話題について、問答する等して会話を続けることができる。 | 聞いたり読んだりしたことについて、感想や意見を述べ合ったり、問答したりすることができる。 |
| 話すこと 発表 | 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的表現を用いて話すことができる。 | 初歩的な語彙や表現等を用いて、自分自身のことや体験したことなどについて発表することができる。 | 様々な話題について、情報や意見を正しく伝えることができる。 | 自分の選んだテーマ等について、まとまった内容でスピーチをすることができる。 |
| 書くこと | 名前や年齢、趣味、好き嫌いなど自分に関する事柄について、英語で書かれた文、又はまとまりのある文章の一部を、例示された語句、あるいは文の中から選んだものに置き換えて、自分に関する文や文章を書くことができる。 | 初歩的な語彙や表現等を用いて、自分自身のことや体験したこと等についての短い文を、英文のルールに従って、3文以上で書くことができる。 | 語と語や文と文のつながりなどに注意しながら、様々な主題について、意見やその理由を含めて4文以上で書くことができる。 | 様々な主題について、情報や自分の考えなどが読み手に正しく伝わるよう、文章の構成を意識して5文以上で書くことができる。 |